

# 次世代 郊外 まちづくり 通信

2015年2月発行

編集・発行

横浜市・東京急行電鉄株式会社

[連絡先] 横浜市建築局住宅再生課

☎045-671-4083

vol.13



次世代郊外まちづくり通信は、「次世代郊外まちづくり」のさまざまな活動をお知らせし、地域の皆さまをはじめとして多くのの方々に知ってもらうためのニュースです。

次世代郊外まちづくり

リーディング・プロジェクト（2014）

## 地域のエネルギー マネジメントに向けた 仕組みづくり [進捗報告]

次世代郊外まちづくりが目指す、既成市街地における「生活者中心のスマートコミュニティ」の実現に向けて、モデル地区での省エネ推進や創エネルギー設備の導入検討、住民創発プロジェクトとの連携など、様々な施策を通じて、地域のエネルギーマネジメントに向けた仕組みづくりに取り組んでいます。

### 「家庭の省エネプロジェクト」と「家庭のエコ診断」

2013年度から実施している「家庭の省エネプロジェクト」と「家庭のエコ診断」では、地域にお住まいの多くの方々にご参加いただきました。「家庭の省エネプロジェクト」では、夏季は7～9月の3カ月間、冬季は11～1月の3カ月間という短期間でしたが、大きなCO<sub>2</sub>削減効果を上げることができました。詳細は2～3ページをご覧ください。



# 1. 家庭の省エネプロジェクト

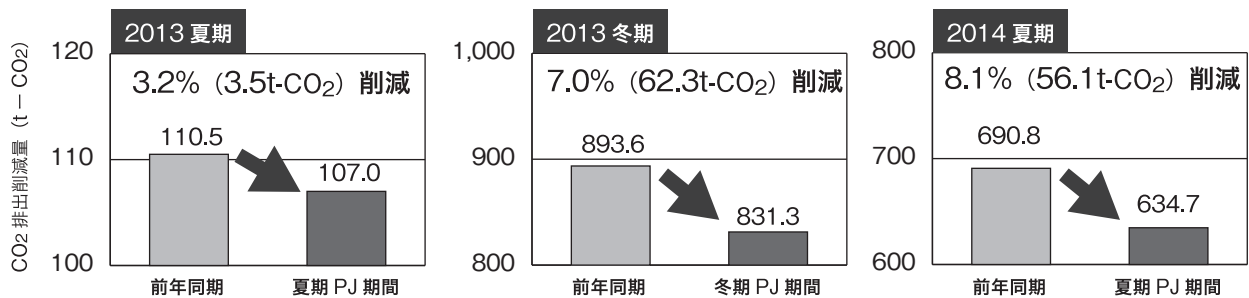


家庭のエネルギー使用量を「見える化」して省エネに取り組んでいただくことにより、地域全体のCO<sub>2</sub>排出量の削減を目指すとともに、省エネの達成状況に応じてたまプラーザ駅周辺の商業施設・商店街で使える地域通貨「プラ」を発行し、地域経済の活性化を図るプロジェクトです。2013年度より延べ2,725世帯に参加していただいています。

2014夏期プロジェクトは、美しが丘1・2・3丁目のモデル地区約6,500世帯に対し395世帯申込(6.15%)と、前年よりもさらに高い参加率となり、プロジェクト全体でも1,269世帯申込と拡大しました。一つの駅の利用者を中心とした狭いエリアを対象とした中で、非常に多くのご家庭に参加いただくこととなり、省エネ活動の普及に貢献しました。

## ■ CO<sub>2</sub> 排出量の削減効果

2014年夏期のプロジェクトでは、参加された皆さまの省エネ活動により、CO<sub>2</sub>換算で8.1%のエネルギー削減となり、前年よりも高い削減率となりました。これは、省エネ活動が徐々に定着してきたことを示していると考えられます。3回のプロジェクトを合計すると、約122トンのCO<sub>2</sub>を削減することができました(杉の木換算約8,700本分)。



## ■ 地域通貨による駅周辺への経済効果

参加された皆さまの省エネ活動を通じて、約500万円分のプラ(3回のプロジェクト合計)が、たまプラーザの商業施設や商店街などで利用され、地域経済に貢献しました。



## 2. 家庭のエコ診断



昨年の受診者の声 //

専門的な知識を持った診断員が家庭のエネルギー使用状況を診断し、環境省のプログラムを利用して、ライフスタイルに合わせたオーダーメイドの省エネ対策を提案するプロジェクトです。

2013年度は121世帯が参加しました。

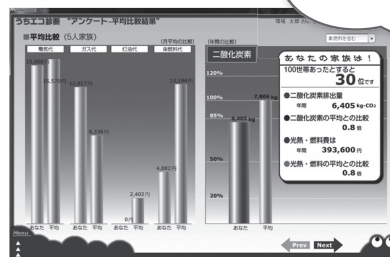
2014年度は、12月5日から2月27日まで診断を実施しており、1月末の時点で約190世帯が参加しました。

平均的な家庭との違いがわかって良かった。機器の買い替えの参考にする。

50代・女性／美しが丘2丁目在住

自宅のエネルギー使用状況をビジュアル的に見ることができ、すごく面白かった。

50代・女性／美しが丘3丁目在住



エネルギー使用状況の確認画面

2月17日(火) 締め切り間近! ご参加お待ちしております

### 診断無料!

■診断実施日は、以下の専用サイトでお知らせします。

■会場:

①ア・ラ・イエセンター  
横浜市青葉区美しが丘 2-23-3

②3丁目カフェ  
横浜市青葉区美しが丘 1-10-1

合計で2,500円分の  
QUOカードをプレゼント  
※診断を受診し、アンケート回答および事後調査までご協力いただいた方が対象です。



家庭のエコ診断の様子

詳しくは専用サイトをご覧ください!

<https://savepower.jp/jisedai/ecoshindan/>

次世代郊外 で検索

## 【トピックス 1】

### 美しが丘中学校と協力・連携した取り組み 「職業インタビュー」授業を行いました。

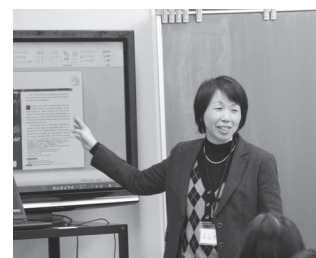
次世代郊外まちづくりでは、次世代で活躍する子供を育てることを目的に、2013年度より、モデル地区内にある美しが丘中学校と連携した学習計画を授業の一環として進めています。

これまで、ICTリテラシー向上を目的とした全生徒分のタブレット配布など、さらなる教育の質の向上に向けて、学校と連携したさまざまな施策に取り組んでいます。

1月15日には、中学1年生を対象とした「職業インタビュー」授業を実施しました。

次世代郊外まちづくりに関わりがあり、各方面で活躍されている9名の講師をお招きし、今の中学生が社会人になる頃を見据えて、各講師が中学生の質問に答えました。

当日の詳細は、ホームページをご覧ください。



## 【トピックス2】

# 「次世代郊外まちづくり ラーニングカフェ」のご案内

新たなシビック・プライドの醸成に向け、各界でご活躍の専門家の方々から先進的で楽しい事例などを気軽に聞ける場として、2014年10月から開催しています。地域のみなさまと一緒にまちづくりを考える「次世代郊外まちづくり ラーニングカフェ」に、ぜひご参加ください。

たま プライド

### これまでの様子



青木 純

部屋づくりからまちづくりへ。  
～暮らしの舞台を考えよう～



石戸 奈々子

これからの時代に必要な力  
～創造力とコミュニケーション力～

三浦 展

超高齢化社会を迎える  
郊外の再生



小黒 信也

街全体でポジティブケア  
～公的介護保険に依存しない  
新しい介護のカチ～



### 今後の予定

地域のみなさまのご参加お待ちしております！

第5回

2 / 5 木

19:00～21:00 (受付開始18:30)

磯村 歩

株式会社グラディエ 代表取締役



地域でつくるモビリティ  
～地域移動をデザインする  
時代がやってきた～

第6回

2 / 19 木

19:00～21:00 (受付開始18:30)

田中 美咲

防災ガール 代表



「防災ガール」が  
防災をあたり前の世の中に！  
～やりたくなる防災の仕掛け～

第7回

3 / 1 日

14:00～16:00 (受付開始13:30)

山下 裕子

特定非営利活動法人  
GPネットワーク 副理事長



公共空間のにぎわいづくり  
～公的資源の有効活用を考える～

第8回

3 / 15 日

14:00～16:00 (受付開始13:30)

石川 貴之

株式会社日建設計総合研究所  
理事 上席研究員



これからの郊外・団地・  
コミュニティを考えよう  
～「あこがれの団地ライフ」第二幕へ～

会場：3丁目カフェ  
(横浜市青葉区美しが丘 1-10-1)

入場定員：各回 50名  
※先着順(事前申込不要)

参加費：各回 1,000円(税込み/ワンドリンクサービス付き)

お問い合わせ：jisedai@tkk.tokyu.co.jp

主催：横浜市、東京急行電鉄株式会社

※通信に掲載の各内容の詳細はホームページにて公開しています。

<http://jisedaikogai.jp/>



横浜市



東急電鉄